

令和 2 年度 社会福祉法人浄願寺福祉社会事業報告書

1. 法人本部

①理事会の開催

開催 期日	開 催 場 所	出席数	議 案
R2.6.4.	浄願寺こども園 次世代育成支援 総合ホール	9/9	① 令和元年度浄願寺福祉社会事業報告の件 ② 令和元年度浄願寺福祉社会決算報告の件 ③ 令和元年度浄願寺福祉社会監査報告の件 ④ その他
R2.12.12	浄願寺こども園 次世代育成支援 総合ホール	9/9	① 令和 2 年度浄願寺こども園会計予算補正の件 ② 令和 2 年度児童クラブ会計予算補正の件 ③ 令和 2 年度子育て支援会計予算補正の件 ④ その他
R3.3.24	浄願寺こども園 次世代育成支援 総合ホール	9/8	① 令和 2 年度浄願寺福祉社会予算補正の件 ② 令和 3 年度浄願寺福祉社会事業計画(案)の件 ③ 令和 3 年度浄願寺福祉社会予算(案)の件 ④ 園舎西側土地購入の件 ⑤ その他

②内部監査

令和 2 年 5 月 26 日(火) 18 時 30 分より、監事 2 名により令和元年度分法人運営及び経理の監査を受けた。

令和元年度の社会福祉法人浄願寺福祉社会の事業報告、財産目録、貸借対照表及び収支計算書等決算帳票については、関連する法令及び通知に従った監査の結果、適正と認める。

指摘事項 ・新型コロナウイルスの感染対策を継続すること。

③ 第一回評議委員会 R2.6.23 浄願寺こども園 次世代育成支援総合ホール

- ① 令和元年度浄願寺福祉社会事業報告の件
- ② 令和元年度浄願寺福祉社会計算書類承認の件
- ③ 浄願寺福祉社会定款変更の件
- ④ その他

2. 事 業

I. 浄願寺こども園

- ① 園児数 定員 150 名

保育認定区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号	3歳児	17	16	16	16	16	16	16	16	16	17	17	17	196
	4.5歳児	40	40	40	40	40	42	42	42	42	41	41	41	491
	計	57	56	56	56	56	58	58	58	58	58	58	58	687
2号3号	0歳児	2	2	3	4	7	7	9	11	13	13	15	18	104
	1.2歳児	49	49	50	50	50	50	50	51	52	52	53	53	609
	3歳児	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	119
	4.5歳児	17	17	17	17	17	15	15	15	15	16	16	15	192
	計	77	78	80	81	84	82	84	87	90	91	94	96	1024
合計		134	134	136	137	140	140	142	145	148	149	152	154	1711
保育教諭		28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	

② 当該年度の特筆すべき事項

4月当初、0歳児が2名からスタートし、年度途中の入園児も伸び悩み、2月によく定員に達した状況であったことに加え、定員を135名から150名に変更したことで、保育単価が下がり、給付費収入が前年度比22,000千円の減額となった。一方保育現場は、園児の増加を見越して職員を配置しており、入所児の処遇については充足していたが、人件費比率が83.5%と増大し人件費積立金を一部取り崩すなど経営的には苦しかった。

③ 保育の内容

保育理念「共生・共育/信頼・尊敬/ゆとり・感謝」を掲げ、「共に生き・共に育ち合える」保育を願いとして、保育目標「ともに生き、ともに育ちあう保育の実践」、保育実践項目「①丈夫でしなやかな体の子ども・②友だちを思いやり、誰とでも関わりが持てる子ども・③みずみずしい感性豊かな子ども・④自分で考え、行動できる子ども」の4項目について、個々の心と体に即した成長発達を遂げるよう保育に取り組んだ。一人ひとりの子どもを大切に、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づきカリキュラムを立案、教育と保育を一体的に提供するよう、創意工夫し園児の心身の全面発達を目指し、季節に応じた保育を行うとともに、感性が豊かに育つよう自然に触れ合う体験活動を多く取り入れるよう心がけた。しかし、コロナ感染流行の為、保育活動の制限をせざるを得なかった。

また、保護者への子育てに対する情報提供や子育てについて考えてもらえるよう保育参加や子育て講演会なども計画していたが、コロナの関係で中止し、十分な子育て支援・保護者支援ができなかった。子育て講演会とクラス懇談会は年度の後半には行えた。

給食の方では、栄養士が保育教諭と連携し、園全体で野菜作り・調理保育・栄養指導などの食育の推進に取り組み、給食材料や献立を検討しながら、より安全でおいしい給食作りに心がけた。

また、アレルギーのある子どもに対して、保護者との連携を取りながらアレルギー源を除去した給食も提供した。

④ 特別保育事業

ア. 延長保育事業

最近の社会情勢から両親の就労状況はますます多様化してきた。親が安心して働けるよう子育てを支援するため午前7時から午後6時までの開所時間に加え、さらに2時間延長して保育を行いその結果、保護者の仕事等の社会的活動と子育て等の家庭生活との両立の負担を軽減でき、子

供が安心できるような環境整備を総合的に推進し、児童福祉の向上を図れた。当園では、月曜日から土曜日まで概ね3名の延長保育を実施し、2人の保育教諭を充てた。

イ. 一時預かり事業(一般型)

令和2年度の利用実績は139名であった。母親の短時間就労や資格の取得、買い物、歯科通院、習い事またはリフレッシュと幅広く多様なニーズに応えることができた。働きたい女性のための託児サービス事業にも取り組んだ。また、在宅育児の母親が、利用目的として「同年齢の子どもたちと触れ合わせたい」「こども園でのびのびと体を使わせたい」などを挙げており、こども園が持つ子育て環境にも目が向けられている。同時に「すべての子どもに保育サービスを」という国の方針にも沿っており、子どもの健全育成にとって重要な事業であるが年々利用減少にある。

ウ. 一時預かり事業(幼稚園型)

令和2年度の利用実績は、平日8,471名、休日2,945名あった。1号認定の新2号認定の子どもについては、預かり保育の無償化により(10月以降)増加していき、教育・保育の提供をすることができた。

エ. 障がい児保育促進対策事業

当園は、心身に障がいを有する児童を受け入れ、他の児童と集団活動をともにする保育を行うことにより、障がい児の健全な育成と社会性を促進し、他の児童においても障がい児をとおして障がいの理解と偏見をなくすために事業実施した。

II. 放課後児童健全育成事業「児童クラブ 風ん子ハウス」

令和2年度利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
2年	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
3年	10	10	10	10	10	10	10	9	9	8	8	8	112
4年	5	5	5	5	5	4	4	4	4	3	3	3	50
5年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
6年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
計	43	43	43	43	43	42	42	41	41	39	39	39	498

昨年度は、新型コロナウイルス感染症のため行事など中止することが多く、制限されたが、感染に気を付けながら工夫して活動に取り組んだ。その中で、子ども達の興味ある茶道を学年別に少人数で学び、作法を身につけることができた。また、伝承あそびでは、大縄跳び、缶蹴り、かくれんぼ、あやとり等を取り入れたことにより遊びが広がり、仲間意識や協調性が深まった。食事作りでは、食物を育て、収穫したもので作る楽しさを味わい、食に関心をもつ良い経験ができた。

日頃、片付けができない子ども達の様子から、クリーン活動に取り組んだ。風ん子や近隣の道

路などのごみ拾いをし、その中でごみの多さに驚き、綺麗にする心が育ち、自分の身の回りの片づけなどに目を向けるようになった。

支援員の子どもに対する対応については、毎月、気になる子どもの様子や関わり方、情報共有などの話し合いを持ち、内面に心を寄せ、理解する努力を重ね、子どもの健全育成に全力を尽くすよう努力してきた。

Ⅲ. 子育て支援事業「子育て支援センター どんぐり」(平成19年4月1日開設)

令和2年度利用実績

	開館日数	利用者(親)	利用者(子)	育児相談	市主催 (すくすく広場)
年実績数	241日	1047人	1123人	14件	4回

〈当該年度の特筆すべき事項〉

納骨堂建設に伴い、センターの移設が始まり、1月から寺の空き室に活動の拠点を移した。利用者・支援員ともになれない場所での活動だったが、特に不都合はなくかえって畳の部屋ということで落ち着けると好評であった。

〈通常の活動〉

たくさんの自然に囲まれ、太陽の光や水・土との触れ合いを思いきり感じることでできる施設の強みを活かし戸外での遊びを充実させ、子どもはもちろんお母さんたちも一緒に楽しみ、日々の子育てに潤いを感じてもらえるように支援した。今年度は、0歳児から4歳児までの親子の利用があり、特に2歳から4歳の子ども同士の関わりが多くたくさんの交流が見られた。子どもならではの気づきや発見を通して、大人と接するだけでは得られない貴重な経験をする姿が見られた。子ども同士が積極的に関わることでお母さん同士の親睦も深まり、みんなで和やかに談笑する場面が多く、日々の忙しい子育てにほっとリラックスできる場を提供することができた。「どんぐり」に来ることで人とのつながりを感じ、子育てが楽しいと思えるよう支援した。

また、子育てに孤立感・負担感を感じているお母さんには寄り添い、相談を受けたり、一時預かり保育の紹介もしたりと、お母さん自身がリフレッシュして子育てに向かえるよう支援した。

年度当初、新型コロナウイルス感染拡大防止のため控えていた食事提供を感染が落ち着いた頃から月・金で再開した。食事前の手洗い・アルコール消毒を徹底し、室内の換気やできるだけ間隔を開けて座る等の感染対策を行った。再開により皆で食べる楽しさや美味しさを改めて感じる事ができた。また、お友だちが食べているから自分も食べてみようという苦手な食材に挑戦する子どもも増え、「どんぐり」での食事をきっかけに家でも食べられるようになったと喜びの声も聞かれた。

核家族化や少子化が進む中、また転勤で県外から来て縁者、知人のいない人にとって、支援センターという交流の場があることで母親同士、子ども同士のつながりが生まれていることは、重要な意義があると考えます。

(補助金)

1. 県費補助金

- ① 働きたい女性のための託児サービス

1,040円

② 子育てホットクーポン補助金	9,500円
合 計	10,540円

2.市補助金

① 延長保育事業補助金	2,052,000円
② 一時預かり保育事業補助金	1,600,000円
③ 一時預かり保育事業(幼稚園型)補助金	325,000円
④ 障がい児保育促進対策事業補助金	240,000円
⑤ 預り保育補助金(杵築市)	2,825,200円
⑥ 預り保育補助金(日出町)	83,100円
⑦ コロナウイルス対応助成金(こども園)	671,970円
⑧ コロナウイルス対応助成金(風ん子)	288,150円
⑨ コロナウイルス対応助成金(どんぐり)	205,200円
⑩ コロナウイルス対応物品助成金(こども園)	809,600円
⑪ コロナウイルス対応物品助成金(風ん子)	404,800円
⑫ コロナウイルス対応物品助成金(どんぐり)	294,800円
合 計	9,799,820円

3.(委託金)

① 地域子育て支援事業委託金	6,000,000円
② 放課後児童クラブ委託金	6,377,515円
合 計	12,377,515円

1. 2. 3 総 合 計	22,187,875円
---------------	-------------

3. 職員研修

(1) 園内研修

- ①職員会議 保育現場の問題・課題を出し合い協議した。研修会の報告をするなど、職員間で情報を共有した。
- ②保育学習会 月一回、斎藤公子の著書を輪読し職員間で話し合った。
- ③自己評価会議 リーダーを中心に、一カ月を振り返り自らを評価しグループでの話し合いを持った。
- ④リーダー会議 自己評価会議の内容を園長・副園長・主幹保育教諭を交えてリーダーが報告し、情報や課題を共有した。
- ⑤週案会議 各クラスの主担が週毎の保育を評価・反省し、課題を見出し次週の計画を発表し、情報を共有した。
- ⑤実技学習会 歌を歌う会やリズムの講習会を行った。
- ⑥事例検討会 気になる子どものエピソードなどの事例を通して自己評価・見直しをし、学び合った。

(2) 園外研修

ア、県保育連合会・認可保育協議会主催の研修会に参加

主幹保育教諭研修会・専門職員研修会Ⅰ（幼児教育）・専門職員研修会Ⅱ(保護者・子育て支援)・専門職員研修会Ⅱ(障害児保育)・キャリアアップ研修会(保護者・子育て支援)・保育コーディネーターフォローアップ研修会・保育コーディネーター補講・新規採用保育教諭研修・新任職員研修会・保育力向上研修会

イ、杵築市保育協議会主催の研修会に参加

職員研修会（オンライン研修実施）、保育担当者研究・調理研究はコロナのため中止

4. 施設整備及び遊具の整備

①園舎廊下、乳児室床張り替え 2,347,400 円

②ひまわりテラス改修 409,750 円

5. 年間の主な行事

- 4月 入園式、クラス懇談会、健康診断(内科・歯科)
- 5月 春の遠足(園内遠足)、年長児お泊り保育（香々地青少年の家2泊3日）
- 6月 0.1.2歳児担当交流会
- 7月 年長児お泊り保育（香々地1泊2日）、3.4歳児・給食担当交流会
- 8月 夕涼み会（人数制限）、園内お泊り保育（4・5歳児）
- 9月 親子バス遠足(アフリカン・サファリ)、年長児二園交流お泊り保育（香々地青少年の家2泊3日）
- 10月 運動会(風ん子広場)
- 11月 健康診断(内科・歯科)、年長児二園交流お泊り保育（九重青少年の家2泊3日・久住山登山）、子育て講演会(広木克行氏)、クラス懇談会、消防訓練（消防署による）、年長児交流会(みかん狩り・1日)、0.1.2歳児担当交流会
- 12月 お餅つき、報恩講のお参り、3.4歳児・給食担当交流会
- 1月 スキー体験（九重スキー場・1日）、年長児2園交流会（スケート体験・1日）
- 2月 年長児お泊り保育（浄願寺・2泊3日）、クラス懇談会
- 3月 年長児中津そば打ち体験・羅漢寺参り、お別れ遠足（臼杵公園・夢公園）、お別れ会、クラス懇談会、生活発表会・卒園式（人数制限）

以上